



9月の支援は、児童も放デイも訪問支援も、とても充実していました。お休み少なく利用していただいていることで、継続的な支援が行えていることが大きいと思います。みんなで作りあげている支援が、一人ひとりの成果につながっている、そんな手応えをひしひしと感じています。ご協力ありがとうございます。何となく制約がある中ですが、日々充実させていきたい思いは、みんな同じですね。心はいくらでも密でOKですから、これからも波長を合わせて、お互い思いやりを持って過ごす心地よさを、元気や勇気の素にして、前に進んでいきましょう！

とはいえ、油断なく過ごしていきたいですね。大事な人を気遣うマナーとして、感染対策は、今後も抜かりなく行っていきたいと思います。今後ご協力の程、よろしくお願いします。

10月・11月の予定ー

- 10月22日（木） 健康診断（児童）14:00～
- 10月27日（火） ST（児童）
- 11月13日（金） 地域連携日（児童はお休み・放デイは通常）
- 11月19日（木） ドクターNの医療相談（児童・放デイ共）
- 11月20日（金） ST（児童）



＝お知らせ＝

《今年度の“さぼねっとまつり”について》（児童・放デイ・訪問支援共通）

8月号でもお知らせしましたとおり、毎年秋に実施してきました“さぼねっとまつり”ですが、今年度は、コロナ感染症予防のため、残念ですが中止させていただきます。

毎年たくさんの方々においでいただき、地域の方々とも交流を深められる有意義な時間であり、あんずと日向にとって、とても大切な行事です。

残念ですが、この情勢下、ご理解の程よろしくお願い致します。

来年は、またみんなで楽しく集える時間を作れるよう、願っています。

《健康診断について》（児童）



10月22日（木）14:00より、児童発達支援を利用しているお子さんを対象に定期健康診断を行います。（あんずの協力医療機関である桜沢医院の茂手木先生が来ます）既に申込用紙は配布しておりますが、あんずを利用しているお子さん全員が対象になります。但し、幼稚園保育所又は、他の所属で健康診断を行っている場合は、健診を受けた証明（用紙はあんずで用意します）を提出していただければ、受診していただくことなく結構です。（希望者は受診可）

児童発達支援センターを利用する上での必須要件となりますので、ご理解の程よろしくお願い致します。

《ドクターNの医療相談》（児童・放デイ・訪問支援共通）



11月19日（木）に、埼玉医科大学総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別の医療相談を行います。今回は満席になりましたが、2月にも相談日を設定しています。“ドクターの話聞いてみたい”“セカンドオピニオンを聞いてみたい”“病院に行く前のファーストステップとして”“診断ってどう考えればいいのか？”等、ちょっとした思いで構いません。ご希望ご関心のある方はお声をかけてください。



コロナ禍対策を、緩まず継続しましょう

健康状態への早めの留意 こまめな手洗い 検温 手指の消毒 換気

には十分気を付けていきましょう！大人も緩まず、子どもにも習慣づけていきましょう！

*換気、席の工夫等『密』にならないよう、子ども達に無理のない範囲で取り組みますが、小集団での支援の都合上、人は集まります。ご了解の上で利用していただきますよう、よろしくお願いいたします。何か不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

どらやきクラスの9月あれこれ



どらやきクラスの巧技台運動では、“ぽっくり”を取り入れています。足をのせ、ひもを持つ姿勢も、初めはぎこちなかった子ども達ですが、繰り返すうちに、上手に乗れるようになってきています。手でひもを引っ張りながら、足も動かし前に進んでいく。少し複雑な動きにも、果敢に挑戦していく“どらやきさん”です。

グーパージャンプやケンパー、鉄棒など、盛りだくさんの巧技台サーキットに、ちょっぴりドキドキすることもあるけど、お父さん、お母さんが見守ってくれていることや、お友達と一緒に頑張っているが、今の“どらやきさん”のエネルギーになっています。

できた！の笑顔大切に♡これからも楽しく元気いっぱい！身体を動かしていきましょう！

カステラクラスの9月あれこれ



朝の会で“おはじき落とし”をしています。繰り返し行っていることもあり、みんなやる気満々。名前を呼ばれるのをじっと待って、自分の番になると、タッパーのふたを開けて小さなおはじきをつまみ、ビンのふたの小さな穴にカラ〜ン…。全部入れ終わるとピンを振ってその音色に「やったー！」と大満足の表現をしています。指先を見てじっくり取り組む姿がとても素敵です。

また、月ごとにその季節に沿った歌（9月は『大きな栗の木の下で』）に合わせて、太鼓をたたいています。トントントンと大きな音が、まるで子ども達の元気な姿を現しているかのようです。

今年度もあっという間に半分の月日が流れ、これから後半戦に入ります。キラキラした目で、取り組める活動を、これからも進めていきたいと思えます。

放デイのひと一言



コロナ禍の影響で、今までの当たり前がちょっと違う形になっています。運動会での子どもたちの勇姿を見学することも叶いませんでした。でも、いつもと違う状態の中、色々工夫することにより、今までやらなかったことを活動に取り入れるようになりました。

はじまりの会も、曜日によっては密を避け、グループ分けをしてちょっと内容を変えながら行っています。

9月の活動では、地域の夏祭りが開催されなかったので、あんずの活動で気分だけでも味わってもらおうと、ヨーヨー釣りや魚釣りをしました。何度もリリースしながらトライしていました。

もうひとつ、9月は新しく、活動の時間に「からだであそぼう」を行いました。遊びの要素を取り入れながら、話（指示）を聞き、その日時に従い、正しく身体を動かすことで、自分の身体を意識したり、感じたり、気づければ良いと思います。

今後も活動の時間に取り入れていきたいと考えています。



保育所等訪問支援9月のある日ある時

9月は、どこの園も秋の行事に向けて活気・元気が加速していました。下旬にようやく秋めいてきて、ちょっとホッとしています。そして、いろいろなエピソードに、拍手と感動がいっぱいでした。

Aくん。体育の先生の個人レッスン。跳べなかった跳び箱が“もう少し”のところまでできた。頑張るキミが素晴らしい！寄り添う先生方の目が強くやさしい！

Bくん。まあいろいろやさしちゃうのですが、「最近ますますかわいくなってきました！」と、同じ日に何人もの先生からお話を伺えて、本当に気持ちよかったです。それは、誰も教えることのできない、人を引き付けるその子の持ち前の個性ですね。

Cちゃん。聞いていないようで見ていないようで、その時になるとタイミングよく誘いに乗って楽しそうに参加しています。道を作っている先生方と、その道を安心して歩むその子の関係に大きな拍手です。

などなど、訪問させていただいた分以上にたくさんのエピソードがあり、ご家庭への報告の話が長くなってしまいます。

そんな理由もありまして…

すぐに報告のお電話ができないご家庭があり、…すみません。



あんず書店



『くんくんくんおいしそう』 阿部知暁 作

アフリカのンドキという森の中での動物と植物がおりなす、自然の環境を教えてくれる絵本。命はつながっているという本です。

森の中の美味しい果実の実に集まるゴリラ、チンパンジー、ゾウ、お腹いっぱい食べての帰り道、それぞれの動物が、大きさの違う「うんち」をしていきます。

そして、何日も何日もたったあと、芽が出てきます・・・(高野)

第22回目は、狭山市総合子育て支援センターの 宮尾 千枝 所長です。



私が思う『つながり』

『つながり』という言葉から連想したこと、「あったらいいな…でも…」です。私の仕事の中に「妊娠期から子育て期まで切れ目のないサポートを」という事業があります。これは、担当課を超えて連携することで、スムーズな支援が受けられる事業です。

難しいなあ…と感じていることは、相手に理解してもらえているのかな？理解してもらえるのかな？とってしまうことです。

話は変わりますが、私は子育てをしている親でもあります。私は、我が子を取り巻く地域の人達の「つながり」に、度々感動したり、感謝したりさせられたりしています。私にとっても、子どもにとっても当たり前ですが、どうもこのご時世、そんなに当たり前ではないらしい…。この「つながり」って何だろう？と思うのです。たぶん、はじめは保育園だったり、野球だったりとは思うのですが…。楽しいこと、しんどいときを共にし、側にいてくれた人達です。今でも気にしてくれている、声をかけてくれる、待っていてくれる、必要としてくれている…そんなことを無意識にできる人、そんな関係が築き上げられる人達なのかなと思うのです。

さて、自分の仕事の話に戻りますと、私は、相手を気にすることができるのかな、理解しようとしているのかな、信じようとしているのかな、壁を作っていないのかな…と振り返ります。コロナ禍では「自粛がラクチン！」という人も少なくないと聞きます。これからは、今まで以上に「人の中に居るめんどくささと心地良さ」を取り入れていくことも考えていきたいと思います。「人は人の中で生きていくこと」に諦めず、こだわっていきたいと思います。そのために、私自身も人の中に飛び込み、触れ、柔らかかでいたいと思います。

こんなことを考えながら、これが、今私の思う『つながり』です。



お 礼 ☆

アルコール消毒液をいただきました。
今一番の消耗品です。ありがとうございます。
絵本をたくさんいただきました。
いつもお心遣いありがとうございます。
大切にに使わせていただきます！



ひとつの声かけ、一本の電話から始まる“つながり”は、今でもいつでもできますね。